

第 7 1 回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会 会議録			
開催日時	令和 7 年 1 2 月 2 5 日（木） 午後 3 時 3 0 分から午後 4 時 3 0 分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟 6 階 正庁		
出席者	委 員	中川幾郎 委員長、田中啓義 副委員長、安田美紗子 副委員長、植村佳史 委員、作間泉 委員、佐野和則 委員、清水順子 委員、元島満義 委員、山口裕司 委員、吉田隆一 委員 【計 1 0 人出席】（大窪健之 委員、野口隆身 委員は、欠席）	
	事務局	仲川市長、真銅副市長、山岡総合政策部長、山口環境部長、上田環境部理事、秋田環境部次長、西川クリーンセンター建設推進課長、平野クリーンセンター建設推進課課長補佐 他	
開催形態	公開（傍聴人約 5 0 人）	担 当 課	環境部クリーンセンター建設推進課
内 容	1 ごみ焼却施設等検討特別委員会の審議の経過について 2 提言を受けた神殿町周辺地域の検討について 3 その他		
決定又は 取り纏め 事項	1 明治地区自治協議会より提言のあった神殿町周辺地域について、市に調査を追加で検討していただく「検討地」とする。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
【1 ごみ焼却施設等検討特別委員会の審議の経過について】 ・事務局より、ごみ焼却施設等検討特別委員会の審議の経過について説明。			
【2 提言を受けた神殿町周辺地域の検討について】 ・事務局より、提言を受けた神殿町周辺地域について説明。 ・委員長より、下記、欠席委員の意見を紹介。  神殿町周辺地域について、策定委員会で審議してきた選定の条件のうち、条件 1「10ha 程度の空き地を抽出する」に当てはまらないものの、明治地区自治協議会から提出された提言の内容を踏まえた上で候補地となりうるのか、検討する余地はある。また、提言を紹介した地元議員から意見があった、ため池の老朽化による管理の問題、農業の担い手不足などの地域課題を			

踏まえて、神殿池を含めた周辺の農地を候補地の区域に入れて検討することも、一定程度妥当性があるものとする。

総合評価について、神殿池のため池ハザードマップにおいて、神殿町の大半が浸水深 0.5m から 1.0m の被害が想定されていることから、候補地の比較評価基準の災害リスクの項目にある洪水浸水想定区域の考え方に準じ、マイナス 1 点とすることが妥当だと考える。埋蔵文化財については、比較的狭い範囲に周知の埋蔵文化財包蔵地が点在している状況を勘案すると、事前の試掘調査が必要になる公算が高いと伺っているため、あらかじめマイナス 1 点とすることが妥当だと考える。

・委員より、神殿町周辺地域について、10ha 程度の空き地を抽出するという選定の条件を満たさないものの、明治地区自治協議会から提言があったこと、東側の神殿池や道路を挟んだ南側の空き地を併せることで十分な空き地が確保できること及び総合評価点が比較的高いことを踏まえると、神殿町周辺地域を調査対象に加える検討をするよう求めてもよいのではないかと。ただし、地元が受け入れられない可能性が今後出てくると思われ、候補地ではなく、調査を追加で検討する検討地という名目で調査対象に加えるのはどうか。調査の対象地をどのように判断するかは市と議会で議論いただきたい。

・委員より、元々 10ha が必要であったと思うが、神殿池を含めた 10ha の意味合いは、神殿池を緩衝地帯とみなすのか、それとも神殿池を廃止するのか。

⇒事務局より、10ha については、元々緩衝地帯という意味合いを含めて設定されたものであり、神殿池を緩衝地帯とみなすことも可能と考える。一方で、神殿池の廃止については、可能性として考えられなくもないが、現在、農業用水として利用されていることから、その受益地のすべてをなくす、または受益地に必要な農業用水を地下水利用等の別の方法によって確保が必要となる。この廃止にあたり、神殿池を管理所有している神殿町水利組合の同意が必要かつ、雨水貯留機能を有していることから、その機能を代替する調整池等の整備が必要となる。

・委員より、候補地の議論を 20 年近くしていること、神殿町周辺地域について明治地区自治協議会から提言があったことを踏まえると、検討地として調査対象に加えてはどうか。ただし、神殿町の住民の不安などもあり、検討地になることですぐに候補地になるものではなく、調査を行った上で市と議会で検討していただきたい。

・委員より、本日、配布された提言の撤回を求める意見書等の取り扱いについてどうするのか。  
⇒委員長より、参考として配布している。

・委員より、仮に過去に点数化した公募による地権者から応募が得られたことを総合評価点に加えると、3候補地よりも高い点数になる可能性がある。本日出ている反対の意見書を踏まえると、候補地というよりは、検討地とし、地元住民の意見を含めて検討していただきたい。

・委員より、提言書の内容を見るとうれしく思ったが、本日の反対の意見書を見てそう簡単にはいかないものだと感じた。地元の理解が最優先であり、候補地とするのではなく、調査をしていくことはいいのではないかと思う。

・委員より、答申をした3候補地についても、今後、反対の声が出るのが想定される。そのような中で、候補地として受け入れていけないか検討するという明治地区自治協議会からの提言は無視するべきではないと考える。ごみ焼却施設等検討特別委員会において、策定委員会で検討すべきとの意見が大半あったことは重要であり、検討に値すると思う。

・委員より、明治地区自治協議会からの提言は、候補地になってよいというものではなく、話を聞いてもよいというものであることから、候補地ではなく、検討地とする意見に賛同する。ため池の管理は大変であり、地元の方の高齢化は深刻であることも考慮する必要がある。また、新クリーンセンターを整備する場合、調整池等の整備が必要であり、神殿池は調整池となり得ることが、プラス面になると考えることもできる。

・委員より、明治地区自治協議会から提言が出たということを尊重し、検討地としてよいと考える。

・委員より、明治地区自治協議会から提言があったこと等を踏まえると、検討地としてよいと考える。

⇒委員長より、明治地区自治協議会から提言があったことや周辺一帯で十分な空き地が確保できること、総合評価点が高かったことを総合的に考えると、候補地とは異なる「検討地」とすることについて各委員の異存はないと受け止めた。本日、反対の意見書が出ているが、そういった反対の意見については対話しながら進めていくとしたうえで、「検討地」とする。

⇒委員より、異議なし。

以上

資 料	1. 次第 2. 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会名簿 3. 会場配席図 4. 明治地区自治協議会から提出された提言書に係る奈良市新クリーンセンター建設の用地について（諮問） 5. ゴミ処理施設建設候補地選考に関する提言
-----	--

	6. ごみ焼却施設等検討特別委員会の審議の経過について 7. 神殿町周辺地域における法規制等の確認 8. 候補地の比較評価基準 9. 道路交通への影響による比較評価 10. 経済効率面による比較評価 11. 候補地区の比較評価表（案） 12. 総合評価点の集計（案）
--	---